

【感想】 私は、京都大学土木会の研修助成を受けて、2014年11月12日から15日までの4日間、アメリカ・ワシントンD.C.で開催される第61回北米地域科学国際学会（61ST Annual North American Meetings of the Regional Science Association International）に参加しました。私は、この国際会議において、「Carbon emission evaluation with the computable urban economic model」をテーマとした口頭発表を質疑応答を含め30分間行いました。本学会には、米国をはじめとして、カナダ、ヨーロッパ、日本、中国、韓国等から1000人以上の研究者が参加し、土木計画学、都市・交通計画、空間経済学や環境科学の分野における地域科学に関する最新の研究成果について討議しました。

私が発表したのは、CUEモデルを用いた都市炭素排出評価に関する研究であり、近年より多くの注目を集めている研究分野です。この学会に参加したことで、同じ分野の最先端の研究者とディスカッションし、貴重なご意見を頂くことが出来ました。そして、この4日間通して、様々な研究者のプレゼンを聞くことが出来、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。

最後に、今回の海外渡航に関して京都大学土木会より助成金を頂き、貴重な経験を積むことが出来ました。京土会の皆様に心から深い感謝を申し上げます。